

# 道政だより

vol.8

わたなべ靖司政務調査室

〒065-0024 札幌市東区北24条東9丁目1-31 しみさまビル1階

TEL.011-750-1717 FAX.011-722-6677

<https://watanabe-yasiji.jp/>

北海道議会議員(札幌市東区)

# わたなべ 靖司



## ごあいさつ

皆さまのお力添えで道政の場に押し上げていただき、早いもので1期目4年間の大詰めを迎えました。3年余りに及ぶコロナ禍は、ようやくさまざまな規制が緩和され、さっぽろ雪まつりが3年ぶりに本格開催できるまでに至りました。

一方で、エネルギー価格をはじめとする物価高騰は、ロシアによるウクライナ侵略の長期化の影響で先が見通せない状況です。こうした影響を最小限に抑え、アフターコロナの新たな社会経済を構築し、食料・経済を含むわが国の安全保障体制を確かなものとするには、札幌・北海道が有する可能性を最大限に發揮することが必要です。

そのため、私は丘珠空港の機能強化による強靭な道内交通ネットワークの確立と地域の活性化、豊かな森づくりによる「ゼロカーボン北海道」の実現、教育や一次産業をはじめあらゆる分野のデジタ

ル化の加速による生産性と競争力の向上、未来を担う人材の育成に資する政策の実現と予算確保に総力を挙げています。

しかし、地域の活力なくして実現はかないません。地域の活力を醸成するには、その基盤となる誰もが安心安全に暮らせる地域づくりがあってこそです。

私は信号機の設置による安全な交通環境の整備、除排雪体制の充実・強化、民間の知恵と活力を存分に活かした地域づくりなど、東区の課題解決に全力で取り組んできました。

引き続きこれらの取り組みを推し進め、東区から札幌・北海道の価値をより一層高めるため、力を尽くす決意です。さらなるご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

北海道議会議員 渡邊 靖司

## 東区内に2カ所の信号機新設を実現! 誰もが安心安全に暮らせる地域へ



誰もが安心安全に暮らせる東区の実現は、私が全力で取り組んでいる重要課題の一つです。交通安全環境の充実はその土台となります。

今年2月10日には、東雁来公園サッカー場に向かう利用者が横断する道路に手押し信号機(東雁来11条3丁目)が新設されました。この道路は近年大型トラックの往来が増え、過去には歩行者と車の接触事故も起きており、サッカー場を利用する子供たちや大会に参加する方々の安全確保のため、地域の皆さまや関係者から信号機設置が要望されていました。設置当日は、私も子供たちや関係者の方々と「渡り初め」に参加し、地域の皆さまと継続してきた要望活動が実を結んだことを一緒に喜びました。

地域が要望する信号機の新設は、一昨年(令和3年)2月26日に東雁来12条2丁目に手押し信号機が新設されたのに続き、東区内では今回で2カ所目になります。今後も、地域の声を懸命に道や国に届け、実現に向けて全力を尽くしてまいります。

### わたなべ靖司の プロフィール

●昭和31年3月5日生まれ、A型 ●札幌市立北園小学校、明園中学校、札幌光星高校卒業、東海大学(中退) ●株式会社 丸信ワタナベ代表取締役  
【北海道議会】議会運営委員、総務常任委員会理事、北方領土対策特別委員会理事【自民党道連】組織委員会副委員長、総務会常任総務、政務調査会委員、選挙対策副委員長【資格】宅地建物取引士、大型2種自動車免許【公職歴】 ●札幌青年会議所 副理事長 ●日本青年会議所 北海道地区協議会 運営専務 ●北海道私立幼稚園PTA連合会 会長 ●北園小学校PTA会長 ●東区PTA連合会 副会長 ●北海道神宮第28北祭典区 代表委員長 ●札幌市東消防団 北祭分団 分団長【現職】 ●東区北祭連合町内会 顧問 ●北祭東町内会 副会長 ●札幌村郷土記念館保存会 相談役 ●札幌市東区少年軟式野球連盟 顧問 ●日本犬ぞり連盟 特別顧問

# 「和牛のオリンピック」で過去最高成績!

## 北海道の和牛が日本の畜産業を切り拓く

昨年10月に鹿児島県で開催された「第12回全国和牛能力共進会(通称:和牛のオリンピック)」で、北海道勢が過去最高の優等賞3席(3位)を2部門で獲得したのをはじめ大活躍しました。私も同僚議員たちと現地におもむき、生産者の皆さまのたゆまぬ努力が大きく花開いた瞬間に立ち会い、喜びを分かち合いました。日本の畜産業のけん引役として、本道への期待はますます高まっています。5年に1度開催される「和牛のオリンピック」の次回大会は、令和9年に本道で開催されます。地元での北海道勢初の栄冠に向けて、私も全力を尽くしてまいります。



## 民間の経営ノウハウやエネルギーのあり方を調査 総務委員会で徳島、福井を視察

私が理事を務める道議会総務常任委員会は昨年11月、道外調査のため徳島県と福井県を訪問しました。徳島県では、民間の資金と経営ノウハウを活用するPFIという手法により全国で初めて整備された徳島中央警察署を視察。福井県では、関西電力管内で最大の発電量を備える大飯原子力発電所を訪れました。大飯原発は平成25年7月、世界で最も厳しいとされる国の新規制基準をクリアし、福島第一原発事故後では初めてとなる再稼働に至りました。

民間の知恵と活力を活かした行政のあり方が模索され、エネルギー価格高騰による電気料金の値上がりが相次ぐ現在、学ぶところの多い視察となりました。



## 令和4年第4回定例道議会(12月5日)

## 一般質問(要約版)

### 丘珠空港の将来像について

**わたなべ** 札幌市は11月29日に正式に将来像を策定・公表したほか、市内各地で意見交換会を開催した。市によると肯定的な意見が多くを占め、全体としては丘珠空港の整備に期待する声が多かったという。意見交換会では「路線拡充に賛成」「各地方との路線を増やして」との意見が出ていたと承知している。先日のわが会派同僚議員による代表格質問では、知事も「丘珠空港の将来像の実現により、新千歳空港に就航していない道外路線の開拓や、丘珠空港を結節点に道内外の路線が接続することによる観光やビジネスの新たな需要創出が期待できる」と答弁された。将来像の実現は、航空ネットワークの充実と新たな需要創出につながると考える。道は実現の効果をどう受け止め、今後どのように対応していく考えか。

**鈴木知事** 札幌市策定の「丘珠空港の将来像」が示す滑走路の1500mから

1800mへの延伸が実現すると、一定規模のジェット機も通常で定期便就航が可能となり、道外路線と丘珠空港発着の道内路線が結びつくことで、新たな観光やビジネスの需要創出が期待できる。道としては「北海道航空ネットワークビジョン」の実現にもかなうものと考えており、丘珠空港の機能強化策実現に取り組み、航空会社への就航の働きかけや航空会社間の連携促進など、航空ネットワークの充実・強化の取り組みも進めていく。



### 〈その他の質問項目〉

- 林業の担い手の確保
- 里親制度
- 森林環境譲与税
- 小児医療
- 道営住宅における脱炭素化
- 北海道新幹線の整備

総務常任委員会(令和5年2月7日)では、道の雪害対応や道をはじめ自衛隊や警察、消防、北電など関係機関・企業が参加する北海道雪害対策連絡部の役割や対応の強化などについて、道の取り組みをただしました。

## 道の新年度予算案2兆8507億円 骨格予算として過去2番目の規模に

道は2月10日、一般会計の総額2兆8507億円(今春に選挙を控え、必要最小限の「骨格予算」のため前年度比では11.6%減)となる令和5年度当初予算案を発表しました。骨格予算としては過去2番目の規模です。コロナ対策や物価高騰対策といった喫緊の課題に対応する一方、ゼロカーボン北海道の実現など、北海道の未来に向けた取り組みへの予算も確保しています。道議会令和5年第1回定例会(2月17日~3月8日)で活発に議論し、真に道民のために役立つ予算となるよう磨き上げます。

### 令和5年度当初予算案の注目ポイント

事業名	概要	予算額
中小企業総合振興資金貸付金	中小企業への円滑な融資を促進。「ステップアップ貸付(ゼロカーボン)」を新設し、ゼロカーボン北海道の実現に向けた事業者の取り組みを支援(融資枠20億円)	3043億9300万円
豊かな森づくり推進事業費補助金	森林所有者が計画的に実施する植林を支援	7億7952万円
地域子ども・子育て支援事業費	地域の実情に応じた子ども・子育て支援の充実を図るため、市町村の取り組みを支援	22億9977万円
部活動の地域移行支援事業費	中学校の休日の部活動の地域移行に向けた取り組み支援	1億3568万円